

牛久市図書館協議会議事概要		日時	平成30年7月17日（火曜日）
件名	平成30年度第1回図書館協議会	場所 時間	牛久市立中央図書館 視聴覚室1 10:00～11:30
作成年月日	平成30年7月21日（土曜日）	作成者	教育委員会中央図書館 : 諏訪部なずな
出席者	(出席委員) 佐々江健治、池田史恵、萩谷智徳、助川勉、長谷川啓一、関根順子、中島和枝 (事務局) 関達彦(館長)、宮田夏海(主査)、諏訪部なずな(主事)、三田朝子(司書)、坂本佳澄(司書) (傍聴者) なし <div style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</div>		
議事内容	1. 平成29年度図書館運営状況について 2. 平成30年度予算について 3. 平成30年度図書館事業計画について 4. その他		
会 議 内 容 等			

1. 図書館協議会委員任命書交付式（新任委員1名）

2. 委員自己紹介

3. 職員紹介

4. 開会

5. 委員長あいさつ

6. 議題

報告第1号 平成29年度図書館運営状況について

報告第2号 平成30年度予算について

報告第3号 平成30年度図書館事業計画について

上記内容について、事務局において資料に基づき事業内容の説明を行った。

■報告第1号 平成29年度図書館運営状況について

長谷川委員：来館者数はどのように計測しているのか。

坂本司書：玄関に計測機を設置している。

関根委員：中高生の来館をよく見かけるが、貸出冊数が少ないのはどのような理由か。

坂本司書：学習室の利用のみという学生が多い。

関根委員：貸し出しに結びつけるための対策が必要なのではないか。

関館長：各種イベントを通して高校生との連携強化に取り組んでいる。今後も読書の重要性を積極的に発信し更なるPR活動に努めていく。

佐々江委員長：小中学生の貸出冊数が微増している理由は、60代の貸出しが減り70代が増加しているのは、60代だった人が年齢を重ねて70代になったからという理解でよいか。

関館長：中学生以下については、牛久市子ども読書活動推進計画に基づいて実施してきた各種施策が実を結び始めた成果であると考えている。60代の貸出しが減り70代が増えた要因は二つあると考えており、一つは佐々江委員長のご見解のとおりで、もう一つは定年の延長など、高齢者になっても働く方が増えたことが要因ではないかと分析している。

■報告第2号 平成30年度予算について

長谷川委員：歳入の内訳は。今年度の特殊建築物調査の実施は。相互貸借の予算の詳細は。

関館長：図書館の歳入の内訳は、館内自動販売機の設置料、資料弁償代、公衆電話使用料、コピーサービス代、市史編纂資料・図書館刊行物売捌き料などである。特殊建築物調査については3年に1回であり、昨年度実施済みのため今年度はなし。

坂本司書：相互貸借の予算は郵送料を計上している。ただし、県内ならば県立図書館の主導でネットワークができていたため郵送料不要。県外からの相互貸借は基本的には借り受ける図書館が往復の郵送料を負担している。例外として、国立国会図書館はすべて元払い（片道負担）。

佐々江委員長：大学生の新規登録が増えているのは、相互貸借のようなサービスも影響していると思うか。

関館長：登録数の増加には複合的な理由があり、この数字だけで判断することは難しい。

中島委員：リーブルの会の仕事は。また、読書団体連合会はどんなことをしている団体か。

佐々江委員長：読書団体連合会は、各種講座の開催や、毎年1回「著者を囲む集い」などを開催している。今年は「霞ヶ浦」をテーマに、歴史や文化に関する講座を実施しており、予算は講演会を開催するための費用である。

関館長：リーブルの会には、図書館運営の一部業務を委託している。具体的には、カウンター業務、資料の受け入れ、学校図書館ネットワーク事業、高齢者施設を回るクローバー文庫、春と秋のナイトシアター、夏休みの子ども司書体験などである。

■報告第3号 平成30年度図書館事業計画について

佐々江委員長：図書館で開催される講座等に日程や定員の問題で参加できない人へのフォロー、たとえば録音・録画等で対応できないか。

関館長：参加できない方に講座の内容を提供できれば良いと思うが、多くの場合、録音や録画を不可とする講師が多い現状があり実現は難しい。

佐々江委員長：できるならCDやDVDなどで公開してほしい。

関館長：講師に了解を得られれば、対応を検討する。

7. その他

池田委員：こどもとしょかんまつりは来年度も同じようなものになるのか。

関館長：内容は違ったものになる。多くの方に評価されるイベントにしたい。

佐々江委員長：もっとレファレンスのことをアピールしていくべきでは。

関館長：今年度は、広報政策課や牛久栄進高校と連携して図書館PR動画の制作や、完成したPR動画を活用した行政区等訪問活動に取り組む。

8. 閉会